令和７年度　第２回公開実力テスト　中２
解　答　と　解　説

英 語

1　リスニング

〈解答〉(1)ⓐ No　ⓑ doesn't☆☆
(2)ⓐ Yes　ⓑ can☆☆
(3)ⓐ swim☆　ⓑ in☆
(4)ⓐ was☆　ⓑ beautiful☆
(5)ⓐ on　ⓑ Sundays☆☆

〈読まれた英文〉

My brother Alex is a student and he lives in Australia. He will study at a school in Japan next year, so he is studying Japanese now. Many schools have Japanese classes in Australia. When Alex comes to Japan, we will go to Okinawa and swim in the sea. I visited Okinawa last summer with my friends. The sea was very beautiful. Alex likes music and plays the guitar and the drums well. He is going to play the guitar in the music club at his Japanese school. He likes cooking, too. When I was in Australia, I made dinner with him on Sundays.

(1) Does Alex live in Japan now?
(2) Can students learn Japanese at many schools in Australia?
(3) What will Mr. Clark and his brother do in Okinawa?
(4) How was the sea when Mr. Clark visited Okinawa last summer?
(5) When did Mr. Clark and his brother make dinner in Australia?

2　文法・英作文

〈解答〉(1)①ⓐ How　ⓑ many　ⓒ books☆☆
②ⓐ Let's　ⓑ wash☆☆
(2)① Whose notebook is it☆☆
② Do you need something to drink☆☆
③ doing math homework was difficult☆☆

(1)①「本を何冊」と‘数’をたずねるときは、How many のあとに名詞の複数形（books）を続ける。

②「…しよう」と人を誘うときは〈Let's ＋動詞の原形〉を用いる。「～を洗う」は wash なので、Let's wash ～ の形になる。

(2)①　Aの質問にBが「それはジュディのものだと思います。」と答えている。Bがノートの持ち主を言っていることと語群から、Aは「それは誰のノートですか。」とたずねていると考える。語順は〈Whose＋名詞（notebook）＋ be 動詞（is）＋主語（it）？〉になる。

②　Aの質問にBが「はい、お茶をお願いします。」と答えているので、Aは「何か飲み物はいりますか。」とたずねたと考える。Do you need something（何かいりますか）で文を始める。to drink（飲むための）は不定詞の形容詞用法で、something（何か）を後ろから修飾する。something to drink は「飲むための何か＝飲み物」という意味。ここでは、AはBに対して「あなたの飲み物を買いましょうか。」という‘提案’をしていると考えるのが自然である。Do you need to drink something?（あなたは何かを飲む必要がありますか。）では‘提案’を表すことができていないため不適。

③　Aが「宿題を終えましたか。」とたずね、Bは「はい、でも…」と答えている。語群に be 動詞（was ／ were）と形容詞（difficult）があるので、「～は難しかった」という答えが考えられる。また、動名詞の doing（～をすること）は名詞のはたらきをして文の主語になる。doing math homework（数学の宿題をすること）を主語にすればよい。動名詞は単数扱いなので、be 動詞は was を用いる。

3　対話文の読み取り

〈解答〉(1)　イ☆☆
(2)ⓐ　一生懸命練習した☆☆

ⓑ　**試合に出られなかった〔試合でプレイできなかった〕**☆☆

⑶③　**カ**☆☆　　④　**ウ**☆☆

⑷　**ア**☆☆・**ウ**☆☆**（順不同）**

⑴　文末に yesterday（昨日）という過去のことを表す語があるので、動詞は過去形を選ぶ。

⑵　下線部②の直前に so（だから）という接続詞がある。「少し悲しかった」理由は直前にある「一生懸命練習したけれど、試合に出られなかった」ことである。

⑶③　陸の発言に、エミリーが In the Green Park.（グリーンパークだよ。）と‘場所’を答えているので、where（どこで）で始まる**オ**か**カ**が入ると考えられる。空所の前に陸が「きみといっしょに走りたいな。」と言っているので、**カ**「どこで走るの？」が合う。

④　陸の「7時に起きるよ。」という返答から、起きる時刻をたずねる**ウ**を入れるのが適切。

⑷　陸は野球チーム、エミリーはテニスチームのメンバーなので、**ア**「陸とエミリーは異なるスポーツチームに入っている。」と一致する。陸の「次の試合では先発メンバーになりたいから、もっと練習するつもりだよ」という発言が、**ウ**「陸は次の試合に出たいので、もっと練習するでしょう。」と一致する。陸は試合に行ってチームの手伝いをしたと言っているので、**イ**は一致しない。陸は7時に起きると言っているが、エミリーは「6時30分にそこ（＝グリーンパーク）に行くんだ。」と言っているものの、起きる時刻については話していないので、**エ**も一致しない。エミリーは陸が早起きすると聞いて「いっしょに走れるね。」と言っているので、**オ**も合わない。

4　長文の読み取り

〈解答〉⑴ⓐ　**疲れて**☆☆

ⓑ　**立ち止まりたかった〔やめたかった、歩きたくなかった〕**☆☆

⑵　**ア**☆☆

⑶　**ウ**☆☆

⑷ⓐ　**12時**☆☆

ⓑ　**1回目〔初回、初めて〕**☆☆

⑸　**ウ**☆☆・**エ**☆☆**（順不同）**

⑴　健太は下線部①で「もうこれ以上歩きたくない。」と言ったが、その理由は直前に書かれている。I was tired. I wanted to stop（ぼくは疲れていました。ぼくは立ち止まりたくて）が理由である。

⑵　下線部②は「ぼくはとても驚いた」という意味。驚いた健太は、男性に「どうして毎日それ（＝金剛山）に登るのですか。」とたずねている。この質問から、健太が驚いた理由は**ア**だと判断できる。

⑶　男性は「わたしが若いとき、仕事がたいへんでした」と言ったが、今も働いているという話はしていない。したがって、**ウ**が his story の内容に合わない。**ア**「その男性は山でそばを食べるのを楽しんだ」、**イ**「その男性は山の頂上からの眺めが好きだ」、**エ**「その男性は山に登ったときにリラックスした」は、健太が会った男性の発言内容に全て一致する。

⑷ⓐ　第3段落の後半に We reached the top at twelve.（ぼくたちは頂上に12時に到着しました。）と書かれている。

ⓑ　第5段落で、金剛山で出会った女性が Is this your first time here?（ここに来るのは初めてですか。）とたずね、健太が Yes と答えているので、金剛山に登るのは1回目だとわかる。

⑸　第3段落最終文の「サンドイッチを食べた」と第4段落1文目の「昼食後にコーヒーを飲んでいた」が、**ウ**と一致する。また、健太が登った山の頂上で会った男性が、「ここからの眺めが好きです。街とこのあたりの山々を見ることができます。」と言っている。これは**エ**と一致する。健太が登った日はくもりで暑かったので、**ア**は合わない。健太がおじいさんと下山したとは書かれていないので、**イ**も合わない。健太が会った女性は「子どもたちとたびたび山に来ます」と言っているが、友人と来るとは言っていないので、**オ**も合わない。

〈本文訳〉

3

エミリー：こんにちは、陸。週末はどうだった？

陸：ぼくは野球チームに入っていて、昨日試合があったよ。わくわくする試合で、ぼくたちが勝ったよ！

エミリー：それはすごいね！　あなたは試合に出たの？

陸：いいや、出なかったよ。ぼくは先発メンバーではなかったから、ベンチにいたんだ。

エミリー：ああ、そうだったの？　それは残念だね。

陸：一生懸命練習したけれど、試合に出られなかったから、少し悲しかったよ。

エミリー：そうなんだ。あなたは試合で何かしたの？

陸：うん、したよ。ぼくはチームのために働いたよ。チームメートが試合をしているときに応援したんだ。コーチを手伝ったよ。例えば、ボールを拾ったり、バットを移動させたりしたよ。試合のあと、ベンチを掃除したよ。

エミリー：たくさん助けたね！　チームにはあなたが必要だったね。
陸：ありがとう。次の試合では先発メンバーになりたいから、もっと練習するつもりだよ。
エミリー：どんなことをするつもり？
陸：朝に走るつもりだよ。
エミリー：それはよい考えだね。わたしはテニスチームに入っていて、わたしも毎朝走っているよ。
陸：本当？　きみといっしょに走りたいな。どこで走るの？
エミリー：グリーンパークだよ。6時30分にそこに行くんだ。
陸：わあ、早いね。
エミリー：あなたはどう？　ふだんは何時に起きるの？
陸：7時に起きるよ。でも、早起きして、そこできみに会うよ。
エミリー：いいね！　いっしょに走れるね。
陸：ありがとう！

4

親愛なるスミスご夫妻へ

お元気ですか。ぼくは元気です。

今日は、ぼくの夏の1日についてお話しします。

ぼくは先週、父といっしょに山に登りました。ぼくたちは金剛山に登りました。それは大阪にある山です。くもりの日でしたが、暑かったです。途中まで登ったとき、ぼくは疲れていました。ぼくは立ち止まりたくて、父に「もうこれ以上歩きたくない。」と言いました。しかし父は「見てごらん！　頂上が見えるよ。あきらめないで。」と言いました。途中でたくさんの人々に会い、彼らは「前進し続けて。頂上は近いよ。」と言ってくれました。ぼくたちは頂上に12時に到着しました。そのときとてもお腹が減っていました。ぼくたちはサンドイッチを食べました。とてもおいしかったです。

昼食後にコーヒーを飲んでいるとき、ぼくたちは高齢の男性に会いました。彼は「わたしはこの山に毎日登っています。この近くに住んでいます。」と言いました。ぼくはとても驚いて、「どうして毎日それに登るのですか。」とたずねました。彼は「なぜなら、ここからの眺めが好きだからです。街とこのあたりの山々を見ることができます。」と答えました。彼はまたこう言いました。「わたしが若いとき、仕事がたいへんでした。でもこの山に登って新鮮な空気を味わっているときはリラックスできました。ここでそばを食べることも楽しみました。この山がわたしをたくさん助けてくれるのです。」ぼくは彼の話を聞いて、多くのことを学びました。

ぼくは、そこで奈良から来た女性とも話しました。彼女は「ここに来るのは初めてですか。」とたずね、ぼくは「はい。」と答えました。彼女はほほえんで、「ここは初心者によい山です。わたしは今日はここに一人で来ましたが、子どもたちともたびたび来ます。」と言いました。彼女は大阪と奈良のよいハイキングをする場所について話してくれました。

ぼくはあの日、すばらしい眺めを見て、人々と話すのを楽しみました。ぼくにとってよい思い出です。

今度あなたたちを訪ねるときは、いっしょに山に登りたいです。

それではまた

健太